



4

# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2020年5月31日号

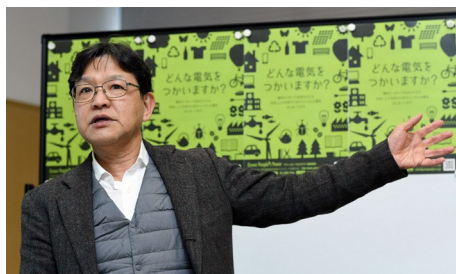
編集 / 毎日新聞社販売局D・クリエイションセンター

ストーリー



## 再生可能エネルギー、市民の挑戦

6月7日(日)＝ストーリー一面



東京電力福島第1原発事故後、再生可能エネルギーを普及させる市民運動の連合体「NPO市民電力連絡会」（約80団体、個人約70人）が

設立されました。理事長の竹村英明さん（68）＝写真＝は「金なし、技術なし、客なし」で電力業界に飛び込み、難関とされる電力小売事

業者のライセンスを取得し、今年2月から電力販売を始めました。「市民の夢」に向けた挑戦を迫ります。

# 論点

## 「コロナと生活様式」

6月3日(水)＝オピニオン面

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除されました。そして、政府が掲げたのが「新しい生活様式」です。細かな例示に「箸の上げ下ろしまで指摘されたくな

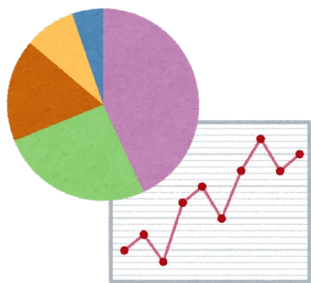
い」という声も聞かれます。一方で、「ニューノーマル（新たな日常）」は世界の潮流のようです。私たちはどんな「新しさ」を身につけるべきか。元キャスターの国谷裕子さ

らに聞きました。



## 家計簿アプリでコロナ禍の家計変化を分析

6月5日(金)＝くらしナビ面



外出自粛で、日々の生活は一変しました。飲み会の出費が減る一方で、自炊で食費が案外かさんだり、在宅の仕事のために机や椅子を新調したり――。実際に

どんな支出にどれだけの変化があったのか。家計簿アプリ大手「マネーフォワード」のデータを使って、コロナ禍の下での暮らしの「リアル」を分析しました。

か。はすかかねが、うみ

りして活用が、

つたすは、

のつては、

と新聞が、

した新聞を、

下に新聞を、

干し新聞を、

あし新聞を、

とつては、

すきにおそく、

乾きのおそく、

満喫する予定です。

か。はすかかねが、うみ

りして活用が、

のつては、

と新聞が、

した新聞を、

干し新聞を、

あし新聞を、

とつては、

すきにおそく、

乾きのおそく、

満喫する予定です。

満喫する予定です。

竹橋の窓辺から

編集後記



## 「銚子電鉄またもピンチ」

6月2日(火)＝夕刊特集ワイド

千葉県銚子市のローカル鉄道「銚子電鉄」が、過去最大級のピンチに見舞われています。度重なる経営危機に、名物「ぬれ煎餅」の販売や「お家芸」の自虐ネタを生かした商品開発で立ち向かってきたのですが、コロナ禍の影響で、ナシヨックで今度は頼みの綱の観光客の減少が深刻です。客が激減するという未曾有の危機を迎えています。乗り越える戦略はあるのか、竹本勝紀社長（58）＝写真＝に取材しました。